

議案審議



ここでは、可決（同意・認定）された主な議案や補正予算の主な事業などについてご紹介します。

人事案件

● 人権擁護委員候補者の推薦

- 井上 美智代（再任／川連町）
- 後藤 アイ（再任／稲庭町）
- 高階 豊太（再任／横堀）



条例の制定

● 湯沢市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例

情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律に基づき、情報通信技術を利用して手続きなどができるような必要な事項を定めるもの



条例の一部改正

● 湯沢市職員の育児休業等に関する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律および育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び雇用保険法の一部を改正する法律の一部を改正する法律の公布に伴い、所要の改正を行うもの

● 湯沢市過疎地域持続的発展支援のための固定資産税の課税免除に関する条例

過疎地域における固定資産税の課税免除について、条例が引用する法令の改正に伴い、所要の改正を行うもの

● 湯沢市議会委員会条例

重大な感染症のまん延若しくは災害等の発生又は育児、介護その他やむを得ない事由により、委員等が委員会の開会場所に参集することができない場合に、オンラインによる方法で委員会を開くことができるようにするため、所要の改正を行うもの

除雪機械の購入

● 除雪ドーザー 8トン級 1台

- ・ 契約金額 1683万円
- ・ 契約相手 コマツ秋田株式会社湯沢営業所



決算の認定

◆ 一般会計決算概要

歳入総額は前年度比9・7%減の314億2377万円、歳出総額は前年度比8・2%減の306億2505万円で、形式収支、実質収支ともに黒字。

◆ 特別会計決算概要

歳入総額は前年度比17・4%増の117億123万円、歳出総額は前年度比1・25%増の114億9017万円で、形式収支、実質収支ともに黒字。

◆ 財政状況

經常収支比率は前年度比1・5ポイント改善し92・9%、財政力指数は前年度と同値の0・31、一般会計の自主財源比率は前年度比2・3ポイント増の28・1%で、前年度よりも自主財源の割合が増加している。

◆ 公営企業会計決算概要

◆ 水道事業会計

総収益が12億5784万円、総費用が11億3269万円で、純利益は1億2514万円となっている。当年度未処分利益剰余金1億2514万円については、全額建設改良積立金に積み立てる。

◆ 下水道事業会計

総収益が15億3192万円、総費用が14億3522万円で、純利益は9669万円となっている。当年度未処分利益剰余金9669万円については、減債積立金と建設改良積立金にそれぞれ積み立てる。